医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所　　（二日町）
在宅療養支援有床診療所（浦佐）

もえぎ

志太 ミヨシ さん書

1
Vol. 368
2023/1.15

迎春

百寿のお祝い(今井　カツ様)
撮影地：萌気園二日町診療所「曼陀羅華」
撮影者：小林　順正

理事長挨拶 …… 2
会長挨拶／老いると老齢を考える(3) …… 3
黒岩卓夫一代記 …… 4
事務局長挨拶
　臨床検査技師として心掛けていることは …… 5
テイクアウトランチ／各事業所クリスマス行事 …… 6
桐鈴会からのお知らせ …… 7
うちの利用者さん／　事業所紹介／編集後記 …… 8

新年明けまして おめでとうございます

萌気会　理事長
萌気園浦佐診療所　院長　黒岩　巌志

【昨年を振り返ると・・】

2022年は、COVID19、ロシアのウクライナ侵攻、原油高、物価高、円安、県北豪雨、県内大雪、知床観光船事故、ソウル梨泰院事故など暗いニュースが多かったというのが実感です。明るいニュースとして私が思いつくものは、サッカーW杯で日本がドイツ・スペインを破りベスト16、北京冬季五輪で平野歩夢選手県勢初の金、大谷翔平選手ルース以来の2桁勝利２桁本塁打、アルビレックス新潟J2優勝J1昇格、などスポーツ関連ばかりです。サッカーW杯スペイン戦『三苫の1㎜』は最高に興奮しました。暗いニュースが多いなか、スポーツの素晴らしさが際立った１年でした。

昨年行った萌気会30周年記念プレイベントと記念式典は、実行委員のご尽力とスタッフのご協力のお陰で大変盛り上がり、大成功となりました。もえぎパワーを改めて感じることができました。心より感謝いたします。

【2023年6月、全国大会が新潟で…】

6月24日、25日の2日間、第5回日本在宅医療連合学会大会が新潟市朱鷺メッセで開催されます。テーマは『今ここに求められる在宅医療の創造～緩和・難病そして薬・機器・人の融合』です。在宅医あっての『在宅医療』ですが、そこには病院との連携、薬剤師・訪問看護師・ケアマネ・リハ職・介護職などの多職種との密な連携が必須です。在宅医療に携わる多職種が『オール新潟』で全国に新潟の在宅医療を発信し、大会が盛会となることを願っております。

【COVID19】

爆発的な第７波、第８波により、本人や家族の感染による人員不足、介護利用者を含めたクラスターの発生による業務停止など多大な負の影響を受けました。

社会経済活動を円滑にするため来年度から2類から5類感染症に格下げになる方向で国が動いています。インフルエンザに比べ感染力が非常に高い、無症状者から感染が拡大する、感染後獲得した免疫は長続きしない、異なった株には感染後数か月で再感染する、などの特性は今後も変わらないでしょう。ウィルスが弱毒化した訳ではなく今後変異により強毒化する可能性のほうが高い中単純な５類への格下げは感染者急増を間違いなく助長します。重症者・死者数の増加につながる恐れがあります。重症化リスクの高い患者の命を守るためには、5類に格下げするとしても、ワクチン接種費用および診療費用の公費負担継続、および適時医療提供の確保が必要だと思います。

【愛と平和】

『地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク』第2回大会が今年9月に名古屋で開催されますが、亀井克典大会長が掲げる大会テーマは『愛と平和がつくる地域共生社会　～ともに暮らし、ともに癒し、ともに生きる～』です。また、昨年のNHK紅白歌合戦のテーマは『Love & Peace』。ウクライナの惨状、相次ぐ自然災害、コロナパンデミックを目の当たりにし、多くの人が愛と平和の大切さを改めて痛感しているのではないかと思います。

2023年が、愛と平和を皆で分かち合える年になることを心より祈念いたします。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年問題を考えよう

萌気会　会長・相談役
黒岩　卓夫

明けましておめでとうございます。
昨年は萌気会の創立30周年の記念すべき節目でした。祝賀会は世代交代を象徴する形や内容をもっていたと思います。
現在国は「全世代型社会保障」の作成中です。その中でも医療や介護は大切で、ことに医療は大病院集中をやわらげ、外来や在宅医療を強化し、介護とも繋げた新たな連携を考えています。これを実現するには、たとえば訪問看護師は現状の５倍にしなければならないと言われています。
その目的で、現在2025年をめどに新しい「地域医療構想」で、新しい地域医療を目指しています。端的には医師の働き方改革をバネに、病院の役割を決め、医師の定員も決め、医師ひとり一人の役割も明らかにすることになります。
萌気会は外来・在宅を中心に、介護施設とも連携し、市民との最前線を担うことには変わりません。
今年も新理事長のもとに力を合わせ萌気会を改革するブランドづくりも忘れずに考えながら進みたいと思います。

2023年元旦

老いると老齢を考える（3）

これまで（1）（2）で故吉本隆明氏が提言した「自然死での自然との闘い」とは何か考えてみます。ひとつの発言があります。それは故早川一光先生が4-5年在宅寝たきりで亡くなる過程で「こんなはずではなかった」と自分の気持ちを吐露していました。周りの者はいったい何だろうと考えこんだでしょう。
私はかつて「和解ある老いと死」（教育資料出版社）を出版しました。その意図は、当時は「尊厳死」や「満足死」などが提言されていましたが、私はそのどちらにも納得できませんでした。
そもそも本人を含め、家族やヘルパー、医師や看護師、友達にとって、その死を納得するのは難しい。その過程のどこかでお互いに我慢する。そして、小さな取引や妥協や許しがあり、例えば〇〇日の夜、往診に呼ばれて、もう少し早く行ければよかった。床ずれの予防にもう少し配慮があればよかった。こうした小さな積み重ねで死を迎えるのが本人もケアする側も「和解ある老いと死」と考えていました。
早川先生は老いの他に骨髄腫（血液の病気）があり、単なる寝たきりによる痛みではない苦しみもありました。にもかかわらず、予期以上に命は延びました。しかしまだやりたいことがいっぱいありました。また先生は優れた芸人でもありました。おそらく寝たきりはもったいない。こうした個人（個）の死は、どのようにつくられるのか。早川先生の生命は、おそらく生と死の間にありました。生と死の間にあるとすれば、自然的とは何か、病苦も何かと改めて問われることになります。
また吉本隆明さんは、死は自分ではわからないという。納得できる人が死を認めてはじめて死になるという。
そこで事件としてマスコミでも広く報道された老母と息子の、老母をめぐる死の物語があります。要は息子は、毎日のようにホーム入居の老母を訪ねていました。それがコロナで面会不可能となり、退所させて自分で介護していました。ところが老母は急に亡くなりました。息子は翌日電話で主治医にすぐ来るよう要求し、医師は数人のスタッフと共に訪ねました。息子は老母の枕元で、「生き返るかもしれない。心臓マッサージをして欲しい。」と頼みました。主治医は丁寧に断りました。とたんに所持していた散弾銃を持ち出して主治医を射殺してしまいました。息子は老母の死に納得していませんでした。ケアにも不満がありました。また老母なしで“自分1人では生きて行けない”という不安が募っていたと思います。とすれば吉本氏の考えでは老母は死ねないことになります。
私はやはり自然と闘いながら死んで行くと思います。
皆さんも、「老齢」、「老いる」、「死とは」を改めて考えて下さい。自分のこととして、共生のことも忘れずに。
長文読んでいただきましてありがとうございました。

漫画 黒岩卓夫一代記 第二部 エピソードで描く

画：福留慶
文・監修：黒岩卓夫
方言アドバイザー：東山美代子

第26話 3人組の結成

「ゆきぐに大和総合病院」の淵源であり、半ば伝説にもなっている人間模様の伽噺だ。3人組も3人それぞれの過去への訣別でもあったが、医療を通して住民と共に世直しをしたい気持ちはひとつだった。医学連は全学連と同様に略名で、全国の医学生の自治会組織だ。幾つかの事件もこの流れに生まれた。

2023年
新年のごあいさつ

萌気会　事務局長
上村　光男

新年明けましておめでとうございます。

2023年は癸卯（みずのとうさぎ）年です。十干の最後にあたる「癸」は、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しているそうです。「卯」はうさぎのように跳ねあがるという意味があり卯年は何かを始めるには縁起が良く、希望に溢れ、景気回復、好転するよい年になると言われています。2023年は「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になるでしょうか。景気が良くなると、う（卯）れしいですね。

2023年は新型コロナウイルスの感染も4年目になります。この地域では昨年9月には少し落着いたかに見えた感染も再び11月から感染が急拡大しています。国は今の所、第8波では行動制限を設けない方針のようなので、医療機関はまた年末年始患者が押し寄せる状況になります。この3年間、医療介護事業を提供している事業者は萌気会だけでなく、医療従事者、介護職員が心身ともに疲弊しています。早く世の中が平穏な生活に戻って欲しいものです。新型コロナ感染状況については昨年と同じような状況が続いています。昨年との違いは、職場も含めて自分のまわりに感染や濃厚接触者が増えて来ている事です。職員の出勤停止や利用者さんの利用停止が明らかに増えています。様々な経済活動にとっては大きなマイナスだと思います。我慢や制約のある生活はもう少し続きそうですが、気持ちは明るく新年を迎えて希望を持って過ごしたいものです。職員の皆さんの日頃の努力に感謝します。

最後に、有志によるチャリティ実行委員会（萌気会）は一昨年の8月以降、地域支援活動のみんなの冷蔵庫（お寺冷蔵庫）やこども食堂の提供を継続しています。昨年はこども食堂を6回開催しました。開催も徐々に増え利用される方も増えています。また、地域の皆さんからお米等の提供や職員からの物品の提供も増えています。ありがたい事です。まだまだ小さな活動ですが、必要な方に確実に品物を届けること、”もったいない・ありがとう”をコンセプトに今後も地域に寄り添った活動を継続してまいります。職員の皆さんも是非協力をお願いします。ボランティア、物品の提供を歓迎します。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

臨床検査技師として
心掛けていることは

萌気園浦佐診療所　検査課
大津　美樹

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

現在、浦佐診療所には３人の検査技師がいます。採血や生理機能検査でお会いしたこともあるかと思います。

私たちは血液検査の変化を見逃さないよう気を付け、受けていただいた検査が有意義な検査になるよう日々努力しています。

コロナの検査ではしつこく検査されたと感じる方もいらっしゃると思いますが、せっかく受けていただいた検査が正確な検査であるよう検体採取や検査説明のできる検査技師の講習を受講しておりますので安心して検査を受けていただけると嬉しいです。

私自身、萌気会に勤務して18年になります。まだまだ若輩者ではありますが出来ることからコツコツと、浦佐診療所にお越しいただける患者様のお役に立てるよう日々精進してまいります。

今後も皆様に選ばれる診療所であることを願っています。

厨房より
黒岩会長浦佐に来て
50周年記念スイーツ贈呈

テイクアウトおやつ

12月16日
開催

通所リハビリセンター浦佐

今回は大人気店「パティスリーアローイ」のケーキ!

1 モンブラン

2 アップルパイ

3 チーズタルト

運動した後のケーキはうま〜い!

クリスマス

地蔵の湯

さくらの郷

曼陀羅華

コム・ソフィ

桐鈴会からのお知らせ

制度対象外
ショートステイ

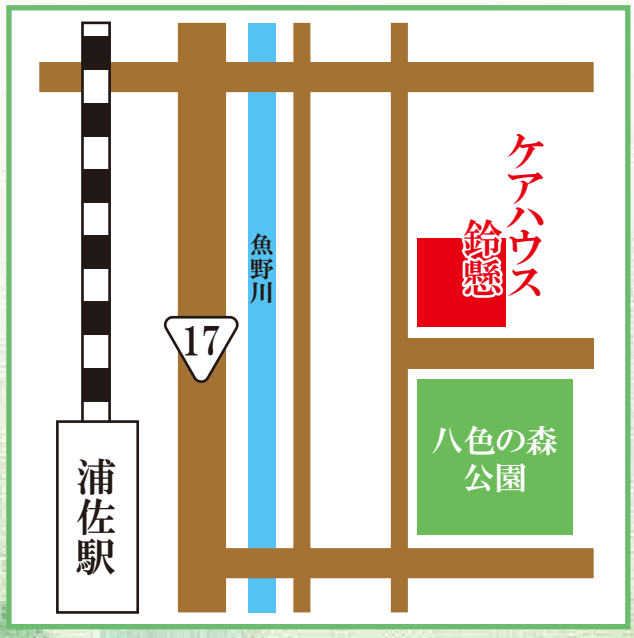
【定員】2名

【料金】4,280円
（1泊3食付）

制度のいらないショートステイで、介護者の不在や休養、体験など、年齢や目的は問わずに利用できます。原則として、移動や排泄がご自身で行える方を対象としています。

ケアハウス鈴懸に泊まってみませんか！

四季折々の八色の森公園を眺めながら、のんびり過ごせます。
食事の提供もありますので、“ゆったり気分”を満喫してください！



〈お問い合せ〉
ケアハウス鈴懸
南魚沼市浦佐5142-1
TEL025-780-4118

うちの利用者さん
通所リハビリセンター浦佐

米山　千代松様

平成26年より当施設の利用が開始され、約8年間、リハビリに励んでいます。農家ということもあり、利用時には運動以外にも率先して植木の管理をしてくださっています。

難読漢字何と読む?

テレビ番組(東大王など)をみながら、難読漢字を素早く１枚の紙に書き出す(録画機能は使わず)。「これが結構頭を使うんだ」と話す米山さん!自分の認知症予防のために始めたようです。リハビリセンター内に掲示し、皆さんその前に立ち止まって考えている光景が印象的です。今までの作成枚数なんと57枚!利用者さんの中にはメモして自宅に持ち帰り考えるという方も!

利用者さんや職員共々、考えながら楽しんでおり、自然に会話も増え、脳が活性化されています。今後も楽しみにしています。

事業所紹介
萌気園大和通所介護　地蔵の湯

地蔵の湯は温泉が良くてご飯がおいしい!といった声が利用者の方からたくさん聞かれます。

温泉は含硫黄―ナトリウム塩化物・炭酸水素塩泉で疲労回復等…心身共にリフレッシュできます。

「いい湯だった、景色もよくて最高だ」といった声がたくさん聞かれ、温泉に入りながら四季を感じていただいています。

食事は厨房職員の気持ちがこもった手作りの食事をみなさんに召し上がっていただいています。季節やイベントに応じた盛り付けを目で楽しまれ、味付けも良いとみなさんに喜ばれています。

編集後記

萌気園二日町診療所「曼陀羅華」
石沢　知美

謹んで新年をお祝い申し上げます。旧年中は利用者さんを始め萌気会を支えて下さった地域の皆様には大変お世話になりました。悪天候の中、曼陀羅華に来所してくださった利用者の方々に、クリスマス会等の各行事で楽しんでいただきながら、和やかなムードで新年を迎えることが出来ました。これからも皆様に楽しんでいただけるよう、職員一同慢心せずに業務に取り組んで参りますので宜しくお願いします。

最後になりますが、寒い日が続き体調を崩しやすい時期です。新型コロナウイルスは勿論、インフルエンザにもかかりやすい時期ですので、皆様ご自愛の上お過ごしください。

表紙題字　志太　ミヨシ様（小規模多機能居宅介護「たもんの郷」）
ホームページアドレス:https://www.moegien.jp/